

# 第4回国際沿岸防災ワークショップ

～これからのアジア・太平洋の津波・高潮防災を考える～

## 第1回アジア・太平洋水サミット開催記念イベント

2004年インド洋津波、2005年ハリケーンカトリーナによる高潮、2006年ジャワ島地震津波、2007年ソロモン諸島地震津波・スマトラ島地震津波などにより、近年、甚大な津波・高潮災害がアジア・太平洋地域で発生しています。2004年インド洋津波直後から毎年実施してきた国際沿岸防災ワークショップでの議論を踏まえつつ、本ワークショップでは、アジア・太平洋地域におけるこれからの津波・高潮防災について、世界の研究者、技術者、行政関係者による一般参加者も交えたワークショップとパネルディスカッションを通して考えます。

日時：1日目、2007年12月1日（土）10:00～17:30  
2日目、同 2日（日）10:00～16:00  
（両日とも受付開始9:30）

場所：横浜シンポジア

（神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9階：裏面にアクセス図）

下記のホームページにて参加を受け付けます。

<http://www.cdit.or.jp/>

### ○ ワークショップ・スケジュール

- 12月1日（土） 10:00～10:30 開会式  
10:30～11:50 テクニカルセッション1－高潮防災－  
13:20～15:00 テクニカルセッション2－最新の津波・高潮防災対策－  
15:20～17:30 テクニカルセッション3－防災情報－
- 12月2日（日） 10:00～11:30 テクニカルセッション4－災害からの教訓－  
13:00～14:00 テクニカルセッション5－これからの防災戦略－  
14:20～15:50 パネルディスカッション  
15:50～16:00 閉会式

日⇄英同時通訳あります

本ワークショップは

社団法人土木学会の継続教育（CPD）プログラムの認定を得ています。

主催：独立行政法人港湾空港技術研究所・財団法人沿岸技術研究センター・国土交通省港湾局



Ministry of Land, Infrastructure and Transport



1993年北海道南西沖地震津波，奥尻島

○ 講演者：

- S. Diposaptono (インドネシア・海洋漁業省)
- B. Edge (米国・テキサスA&M大学教授)
- 藤間功司 (防衛大学校教授)
- 長谷川洋平 (気象庁地震火山部地震津波監視課)
- T. Healy (ニュージーランド・ワイカト大学教授)
- 今村文彦 (東北大学大学院教授)
- 磯部雅彦 (東京大学大学院教授)
- 金田義行 ((独)海洋研究開発機構海洋工学センター)
- 河合弘泰 ((独)港湾空港技術研究所海洋・水工部)
- 河田恵昭 (京都大学防災研究所長)
- N. Kobayashi (米国・デラウェア大学応用海岸研究所長)
- L. Kong (UNESCO/IOC・国際津波情報センター長)
- D. Y. Lee (韓国・韓国海洋研究院)
- P. Lukkunaprasit (タイ・チュラロンコン大学教授)
- F. H. Mallick (バングラデシュ・BRAC大学教授)
- 三浦房紀 (山口大学工学部長)
- 永井紀彦 ((独)港湾空港技術研究所海洋・水工部長)
- 小田勝也 (国土技術政策総合研究所沿岸海洋研究部)
- 高山知司 ((財)沿岸技術研究センター沿岸防災研究所長)
- 富田孝史 ((独)港湾空港技術研究所津波防災センター)
- S. Yim (米国・オレゴン州立大学教授)
- N. Wijayaratna (スリランカ・ルフナ大学上級講師)



2004年インド洋津波，インドネシアスマトラ島



2007年ソロモン諸島地震津波，ソロモン諸島ギゾ島

○ パネルディスカッション：

- コーディネーター： 高橋重雄 ((独)港湾空港技術研究所研究主監・津波防災センター長)
- パネリスト： B. Edge (テキサスA&M大学教授)
- S. Diposaptono (インドネシア・海洋漁業省)
- 磯部雅彦 (東京大学大学院教授)
- 今村文彦 (東北大学大学院教授)
- 河田恵昭 (京都大学防災研究所長)
- L. Kong (太平洋津波情報センター長)



横浜シンポジアへのアクセス

- ◇みなとみらい線  
日本大通り駅，3番出口，徒歩5分
- ◇JR  
関内駅，タクシー5分，徒歩15分  
石川駅，タクシー5分，徒歩15分

ホームページ

<http://www.yokohama-cci.or.jp/symposia/>